

事業所名

どんぐり

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

31 日

法人の理念		1. 「こどもはこどもたちの中でそだつとき、生き生きと自分を成長させる。」 2. 「親は、共同して子育てするとき、子育てが楽しく豊かになる」 3. 「保育は、一人一人の子や親の生活に寄り添うことから始まる。」					
支援方針		親子で過ごしてきた世界から一歩抜け出して、友だちの存在に気づくことを大切にしている。そこから少しずつ友だちとの関わりを意識できるように、保育者が子どもたち同士の気持ちや言葉の代弁をしていく。日々、友だちと一緒に過ごし、少しずつ自分を出していきながら気持ちの折り合いをつけることや、人との距離感を学んでいく。集団生活の中で大好きな友だちと一緒にできた！という達成感をたくさん経験し、次のステップに自信を持って向かえるような支援を行う。					
営業時間		9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、健康状態の確認を行う。 ・友だちと一緒に給食を食べる中で、皆と食べるとおいしいな！楽しいな！と感じ、食への興味の幅を広げる。また、体をたくさん動かし、お腹がすく生活リズムをつくる。 ・様子を見ながら、トイレトレーニングや衣服の着脱に挑戦する。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して散歩に行く。友だちと一緒に手をつないで歩き、たくさん外にでかける事で、季節のうつりかわりや、身近なものを見て感じる心を育て、しなやかな体をつくる。 ・体操やトランポリンなどを通して、体をたくさん動かすことで粗大運動の向上につなげる。 ・製作やパズルやひも通しなど手先を使った活動を通して、遊びのなかで微細運動の発達を促す。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で数・形・色に触れ、認識を深める。 ・戸外遊び、散歩を通して信号があるよ、車は危ないよなど伝えることで、ルールにふれていく。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の表情を見たり、保育者が気持ちを代弁して、相手の気持ちを感じる。 ・言葉だけでなく、身振りや手振り、『いや』『うれしい』『かして』『ありがとう』などの様々な表現を保育者と一緒に経験し、友だちとの関わり方を学んでいく。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃの取り合いなど、友だちとの関わりを大切にしている。ケガをするからと友だちとの関わりを減らすのではなく、その都度子どもの気持ちを受け止め、気持ちを整理することを大切にしている。“おもちゃが欲しかった”など『どうしたかったのか』という自分の気持ちを保育者と一緒に考える機会を大切にしている。 ・少しずつ友だちとの遊び方や関わり方を学び、友達に興味をもち一緒に過ごすことを楽しむ。 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・親子行事・保護者懇談会 ・家庭での悩みに対する助言やサポート ・延長サービス・家族の休息、リフレッシュ 		移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・就園先の認定こども園、保育所、幼稚園と連携、引継ぎ。 ・通園している施設との連携。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・区役所等との連携 ・地域の児童発達支援事業所との連携 		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の児童に対する担当者会議の実施 ・法人研修、虐待防止等の研修 	
主な行事等		5月 保護者懇談会 6月 保護者参観 7月保護者懇談会 10月ピクニック 11月おまつりごっこ 1月 プチ発表会 3月卒室式					